



2020年度

# 事業計画

自 2020年4月 1日  
至 2021年3月31日

## I. 2020年度事業方針と重点項目

### 1. 環境認識

#### 経済環境

- ▼新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、世界経済・日本経済は、大きな打撃を受けている。今後の経済情勢については、感染拡大ペースや終息時期も不透明なため、見通すことができない

#### 国内市場

- ▼2019年度の国内新車販売台数は、503万8,727台（前年度比4.2%減）と4年ぶりに前年度を下回った。  
本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で消費者心理が萎縮しており、今後の需要は全く見通せない  
（自工会も本年度の需要見通し公表を見送り）

#### クルマ社会の変革

- ▼CASEを中心にクルマとクルマ社会の変革が加速し、政府・自動車業界の取り組みに一層注目が高まる





## 2. 事業方針

### (1) 果たすべき役割に基づく事業の見直し

- ▼新型コロナウイルス感染拡大防止や終息後の景気盛り上げなどに、自動車業界として何ができるかを常に考え、業界全体で力を合わせ困難を乗り越えていく
- ▼外部環境の変化は極めて速く、自動車総合団体として果たすべき役割（ビジョン・ミッション）に常に立ち返り、不断に事業や体制を見直していく

### (2) 重点項目への取り組み

- ▼引き続き重点項目（分野）を、「組織運営」「税制」「交通安全」「保険」「クルマ好き拡大」とし、関係業界の支持・支援の下、諸活動を展開する

### (3) 業界の連携強化

- ▼日本自動車会館をベースとした会員・業界間の連携強化を継続する



### 3. 重点項目

#### 1) 組織運営

- ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体制構築

#### 2) 税制

- 新型肺炎、税制改正（消費税・自動車税など）の影響・効果、市場動向フォロー
- 負担軽減・簡素化要望の継続、「中長期的な視点」に関する動向フォロー

#### 3) 交通安全

- 業界の取り組みPR・具体的な事故対策に貢献しうる新規施策の実施

#### 4) 保険

- 6,000億円繰入金の返済（増額）要望、必要な陳情・理解活動の継続

#### 5) クルマ好き拡大

- ホームページ活用・SNS立ち上げなどクルマ・イベント情報提供の充実

## Ⅱ. 事業計画のポイント



### 1. 事業活動



# 1) 組織運営

➤ ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体制構築

■ 創立**75周年（2021年）**を一つの契機として、やるべき事業の選択・拡充、組織運営の向上を図る

やるべき事業分野（ミッション）	2020年度事業	
1 自動車の保有・利用環境向上に向けた政策提言	・委員会活動における情報共有・提言力の強化	継続
2 自動車業界・団体間交流・連携促進	・日本自動車会館をベースとした業界・団体間の連携活動の促進 ・会員拡大	継続
3 自動車の利用促進・好感度の向上	・クルマ・バイク好き拡大事業 + SNS立ち上げ	拡充
4 自動車業界の地位・好感度の向上		
5 上記に優れた実績をあげた人・組織への賛称・褒賞	・具体的な事業を提案・精査（75周年との関連付けも検討）	拡充

## 2) 税制

- 新型コロナウイルス、税制改正（消費税・自動車税など）の影響・効果、市場動向フォロー
- 負担軽減・簡素化要望の継続、「中長期的な視点」に関する動向フォロー

- 税制委員会をベースとした**会員団体・企業、経済産業省、国土交通省などとの連携**により、諸活動を推進する
- 自民党**自動車議員連盟**など**与党を中心とした政策要望活動**を展開する
- 税制改革フォーラムなどとともに、**自動車ユーザーの負担感・不公平感にさらにフォーカス**した世論喚起を図る

与党税制改正大綱  
「検討事項」

自動車関係諸税については、技術革新や保有から利用への変化等の自動車を取り巻く環境変化の動向、環境負荷の低減に対する要請の高まり等を踏まえつつ、国・地方を通じた財源を安定的に確保していくことを前提に、その課税のあり方について、中長期的な視点に立って検討を行う。

### 3) 交通安全

➤ 業界の取り組みPR・具体的な事故対策に貢献しうる新規施策の実施

- 啓発イベント「交通安全。アクション」を軸とした、自動車業界全体として交通安全問題に取り組む姿勢のPRを継続・強化する

(※本年4月4~5日開催予定「交通安全。アクション2020新宿」は新型コロナウイルスの影響で中止。8月末の開催をめどに調整中)

- 会議所活動の機会をとらえ、引き続き高齢者事故・健康起因事故に関する知見深化を図る
- 上記の活動も含めて、交通事故対策に貢献しうる新たな施策を検討し、実施する  
(日本自動車会館も活用)



当会議所 新・交通安全イメージデザイン

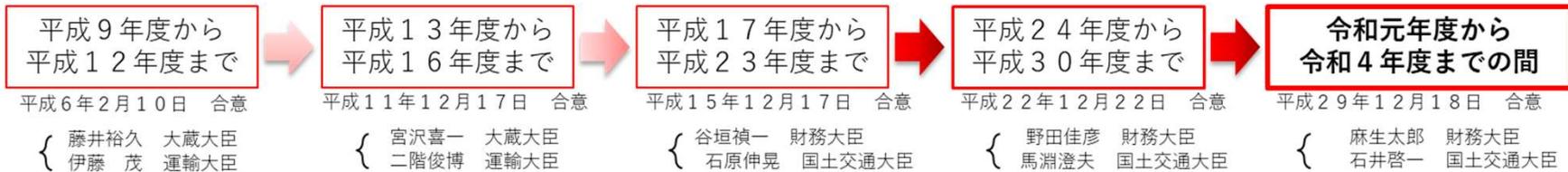
## 4) 保険

➤ 6,000億円繰入金の返済（増額）要望、必要な陳情・理解活動の継続

- 国土交通省とも連携し、「あり方懇」「自賠審」の場をはじめ、「考える会」としてより説得力の高い繰入金の返済（増額）要望の主張を訴える
- これまでのシンポジウム、報道関係者向け説明会の実績を踏まえ、効果的な世論喚起活動を実施する
- 現 財務-国交大臣間覚書で「令和4（2022）年度までの間」とされている繰戻し期限もにらみ、複数年度にまたがる戦略的な政府・国会議員への陳情活動を行う

### 繰戻し期限 大臣間覚書の書き換え

出典：国交省資料





## 5) クルマ好き拡大

➤ ホームページ活用・SNS立ち上げなどクルマ・イベント情報提供の充実

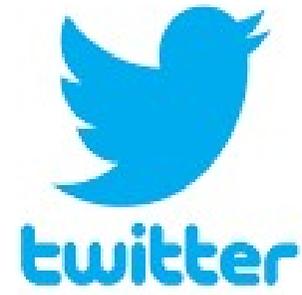
- ホームページを活用し、「クルマ・バイクのファン拡大」「自動車業界への好感度向上」を目指し、ニュースや情報を引き続き掲載する
  - SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の「フェイスブック」および「ツイッター」から独自のニュースも展開し、発信効果を高める
- (4月1日より正式開始)



<https://www.facebook.com/abaorjp>



日本自動車会議所  
1946年に設立され、自動車産業に携わる幅広い団体・企業が加入する総合業界団体で、会員は約170に上ります。クルマ社会の健全な発展に寄与する事業に取り組んでいます。  
◎ 東京都 東京都 abaj.or.jp ◎ 誕生日: 1946  
☑ 2020年3月からTwitterを利用しています



<https://twitter.com/abaorjp>



## 6) 会員サービス・日本自動車会館関係

### 1. 会員研修会

- ・年**10回開催**を計画し、会員から関心の高い**CASE**関連、交通安全、経済問題をはじめ、**時宜を得たテーマを選定**のうえ実施する

### 2. 国内施設視察会

- ・参加者から評価の高い**試乗会を軸に実施案を検討**し、秋頃をめどに開催する

### 3. 広報

- ・**会議所ニュース**について、広報媒体としての効果を見極めながら、情報の電子化や費用節減などの観点も踏まえて、**発行部数やページ数をはじめ、そのあり方をさらに見直す**
- ・必要に応じてニュースリリースを発行するとともに、引き続き産業記者会など大手紙・一般紙との接点拡充を継続する



## 6) 会員サービス・日本自動車会館関係

### 4. 出版事業

- ・例年通り「自動車年鑑」(9月予定 日刊自動車新聞社共編)を発行する

### 5. 日本自動車会館運営

- ・地元地域貢献策も含めて、「情報受発信拠点」を目指す会館PRにつながる新規施策を継続検討する
- ・定例の会館交流会に加え、パラリンピック種目でもあるボッチャ大会の実施など交流機会を充実する

### 6. 全国自動車会議所連携

- ・定期の全国専務理事会(年2回)、永年勤続者表彰式(来年3月)を計画通り実施する
- ・各自動車会議所ホームページ(HP)の拡充ならびに当会議所HPとの相乗効果向上に協働して取り組む
- ・会議所未設置県について、地域の自動車業界の取りまとめ役などの状況を調査し、今後の連携のあり方を検討する

## II. 事業計画のポイント



### 2. 委員会活動

#### 1) 運営委員会

- 当会議所総会・理事会上程議案について審議・承認を行う  
[開催予定：4月（総会前・書面）、3月（理事会前）]

#### 2) 税制委員会

- 当会議所税制改正要望書を取りまとめ、必要な陳情を行う  
[開催・実施予定：9～10月]
- 自民党自動車議連・税制調査会等と連携し、必要な情報収集・意見交換を行う  
[実施予定：適宜]

#### 3) 道路・交通委員会

#### 4) 経済・産業委員会

- 政策動向や関連分野の情報を共有し、政策提言の強化策も検討する  
[開催予定：各委員会 2～3回/年]